



# 第3次糸魚川市 生涯学習推進計画

～学び、つながり、そして輝く人とまち～





## はじめに

糸魚川市では、生涯学習施策を推進するための指針として平成29年3月に「第2次糸魚川市生涯学習推進計画（平成29年度～令和5年度）」を策定し、「学ぶ、生かす、つながる」を基本目標に掲げ、取組を進めてまいりました。

前回の計画から7年が経過し、時代の変遷とともに新たな技術や社会構造の変化により、市民生活は多様化し、新しい課題が浮かび上がっています。そして、このような時代においては常に学び続けることがより重要になってきていると感じています。



生涯学習は、私たちの成長の鍵であり、地域社会の繁栄に欠かせない要素です。そのため今日、私たちは生涯学習の新しい一步を踏み出すための計画を新たに策定いたしました。

この計画は、すべての世代へ学び舎となる場と機会を提供し、スキルや知識を深め、新たな可能性を切り拓く手助けとなるものです。私たちは、学びが限られた場所や時間に縛られることなく、誰もが自身のペースで学び、成長できる環境を整えてまいります。

また、地域の学習機会を増やすため、協力してくださる団体や専門家の皆様と協力し、新たなプログラムや講座の提供など、幅広く皆さんをサポートしていく所存です。

この計画は、個々の可能性を最大限に引き出し、ひいては私たちのまちの魅力を高めるものと信じています。皆さんと共に、より充実した未来を築いていくために、力を合わせて推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見ご提言を賜りました糸魚川市生涯学習推進委員の皆様をはじめ、ご意見をいただいた多くの市民の皆様や関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

糸魚川市長 米田 徹

## 目 次

第1章	計画策定にあたって	1
第2章	計画の位置づけ	2
第3章	糸魚川市生涯学習推進計画の基本理念	3
第4章	本計画の体系図	4
第5章	糸魚川市の人口の将来展望と現状・課題	5
	(1) 人口の将来展望	
	(2) 現状・課題	
第6章	現状・課題に対する施策の方向性	7
第7章	市民の学習ステップに対する市のサポート	8
第8章	主要施策	12
	(1) 家庭教育支援分野	
	(2) 青少年活動分野	
	(3) 成人教育分野	
	(4) スポーツ・健康分野	
第9章	計画の進捗管理	21
	《資料編》	
	糸魚川市生涯学習推進委員会委員名簿	22
	補足資料	23

## 第1章 計画策定にあたって

本市では、平成29年3月に『学ぶ、生かす、つながる ～人をはぐくみ地域をつくる～』を基本理念とした「第2次生涯学習推進計画（平成29年度～令和5年度）」を策定し、市民をはじめ行政及び関係機関が連携した生涯学習の推進を目指しました。また、期間中は年度ごとの実施計画を策定し、成果と課題をまとめ、改善に努めています。

しかしながら、人口減少による少子高齢化等の社会問題への対応は困難であり、さらにはコロナ禍による活動制限や、AIをはじめとするデジタル技術等の急激な進展、人生100年時代の到来など多くの要因による影響は大きく、今後の生涯学習の推進には、従来とは異なるアプローチが求められています。引き続き、市民の多様かつ幅広い学習ニーズに応じられるサポート体制の充実化が必要です。そして、社会の変化に即応できるようにしていくため、常に状況を観察し、必要な意思決定を行い、具体的な改善へとつなげていけるような、柔軟な進捗管理システムが求められます。

「第3次生涯学習推進計画」は、これまでの成果と課題を検証し、社会の変化を踏まえ、市の生涯学習施策をより計画的に推進するための新たな指針として策定しました。市民一人ひとりが豊かで充実した人生を送るため、自発的な意思で生涯にわたり楽しく学習が継続でき、生きがいを見出すことができる社会の実現を目指します。



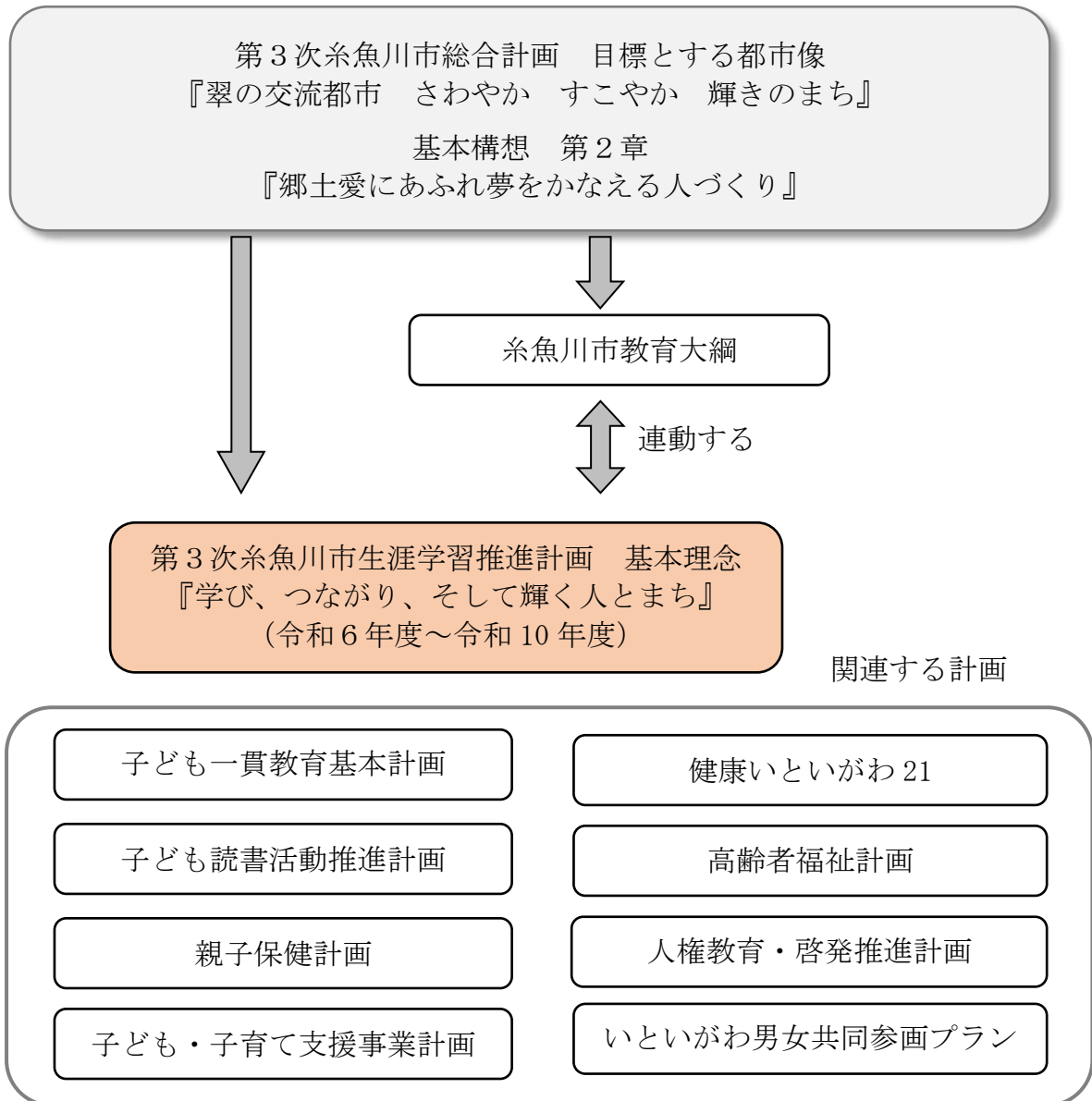
「知らなかった！」「地元がより好きになった！」  
地域の人が地元をもっと知るためのまち歩き



「初めての乗船にワクワク！ドキドキ！」  
夏は海洋スポーツの普及を目指した体験会

## 第2章 計画の位置づけ

第3次生涯学習推進計画は、「糸魚川市総合計画」を上位計画とし、教育の目標や施策の根本的な方針を定めた「糸魚川市教育大綱」と連動し、関連する計画との整合性を保ち、連携を図りながら生涯学習推進の総合的な施策展開の方向性を示すものです。



## 第3章 糸魚川市生涯学習推進計画の基本理念

前章にも記載されているとおり、第3次生涯学習推進計画では、

### 『学び、つながり、そして輝く人とまち』

を基本理念とし、生涯学習を推進していきます。

本計画の基本理念は市民が自ら「学び」の機会へ参加し、その学びを通した中で他者と関わり、その「つながり」の中で自己の居場所や価値観に気づき、そして、自分の目標や夢を見つけ、それに向けて努力する「輝く人」になるよう施策を講じていきます。さらに、「輝く人」を起点として新たに「学び」、「つながり」の輪が広がることで、「輝く人」が増えていき、まち全体に活力がある「輝くまち」へ発展していくという生涯学習社会を目指すことを意味しています。

また、昨今の国際調査に用いられている幸せの指標である「身体的、精神的、社会的に満たされる状態（ウェルビーイング）」についての議論が行政をはじめ、多くの企業や団体で行われています。ウェルビーイングの考え方のもと、「輝くまち」の人々が現代的課題を理解し、対応していくことが今後の生涯学習においては重要であると捉えています。本計画においても、現代的な課題に前向きに取り組む市民を支援し、自己の身体と心が満たされ、社会的な共生に価値を置く生き方ができる生涯学習をより一層推進していくことを目指して「学び、つながり、そして輝く人とまち」を基本理念としました。



「UVレジンを上手に作れるかな？」

「私だけのオリジナル！」

お仕事体験や子どもスタッフが考えたワークショップを来場者に体験してもらう  
キッズフェスタ



「練習の成果を発揮するぞ！」

冬期に開催され、多くの参加者が競い合う  
糸魚川市民スキー大会（アルペン競技）

## 第4章 本計画の体系図

### 【基本理念】

学び、つながり、そして輝く人とまち

### ③輝く（人・まち）

＝自己実現

#### 【施策の方向性】

学びを通じたつながりの中で自分の生きがいや目標を見つけ、さらに糸魚川の伝統や文化、コミュニティを自分事として捉え、主体的に活動していきけるよう後押しします。

### ①学び

＝自らの人生のために  
社会参加

#### 【施策の方向性】

多様化するニーズに対応した、社会教育、スポーツ活動、文化活動、趣味などの幅広い学びの機会や快適な環境を提供し、自ら社会へ参加できるように後押しします。

### ②つながり

＝多様な価値観の発見

#### 【施策の方向性】

学びを通して他者と関わることで社会の中に自分の居場所を作り、他者や自己の価値観を知ることができるよう後押しします。

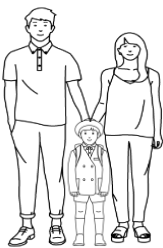
基本理念の実現へ

繰り返し学び、つながり、輝く

様々な取り組みを通して

上記を実現するための事業の枠組

家庭教育支援



青少年活動



成人教育



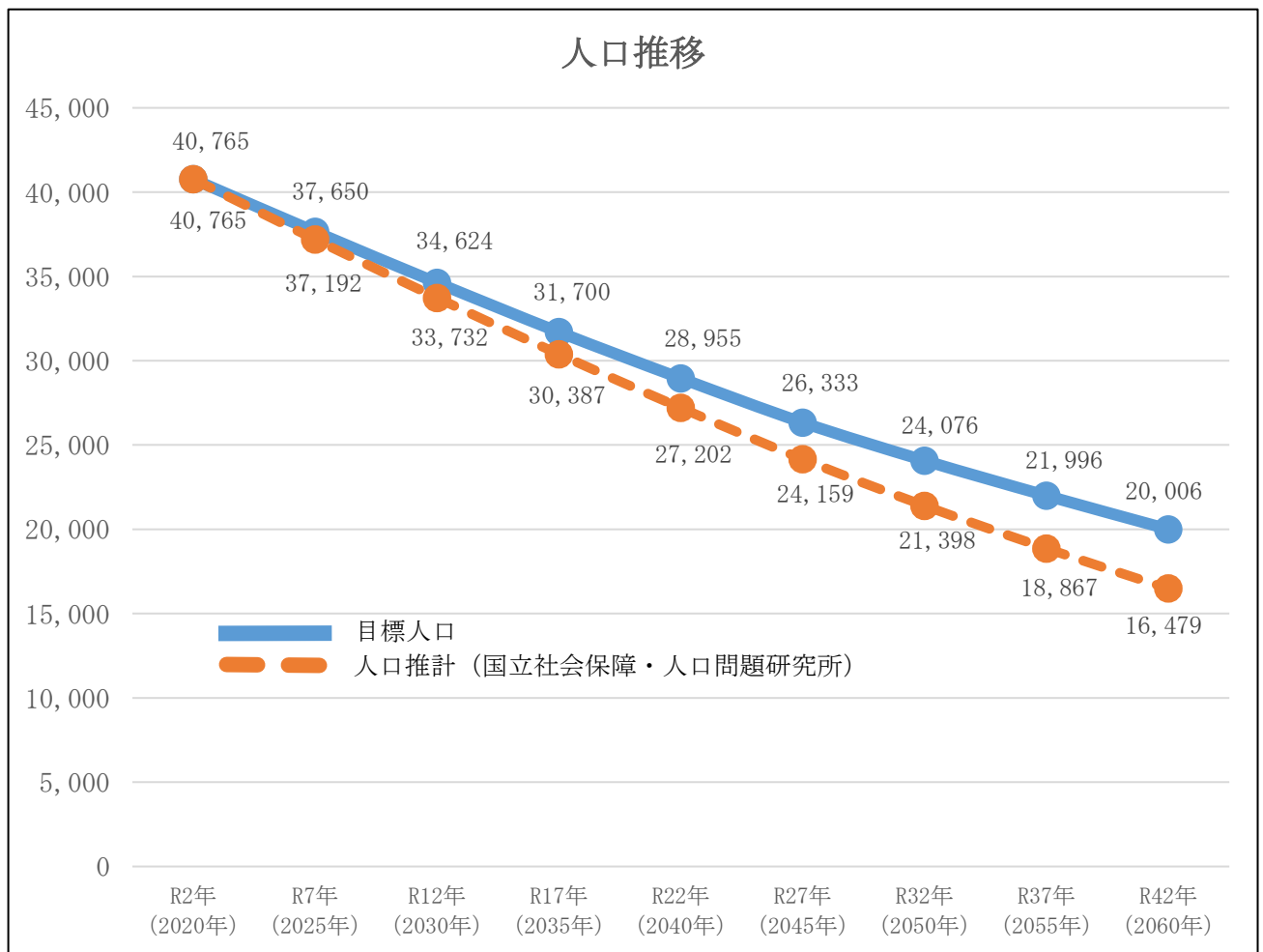
スポーツ・健康





## 第5章 糸魚川市の人口の将来展望と現状・課題

### (1) 人口の将来展望



(出典：第3次糸魚川市総合計画)

当市の人口は、令和5年4月1日現在で、39,377人です。(出典：糸魚川市「住民基本台帳人口」)

将来展望については第3次総合計画に記載されているとおり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると令和42年(2060年)には約16,500人まで減少していくと予想されており、今後も減少傾向や少子高齢化が進んでいくと考えられます。そのため上記の表にあるとおり、糸魚川市では目標人口を定め、総合計画の推進により減少の速度を緩やかにして、令和42年には国立社会保障・人口問題研究所の推計よりも約3,500人増加できるように取り組んでいきます。

## (2) 現状・課題

### ソフト面

#### ① 担い手の不足

生涯学習を広く推進していくにあたり担い手の確保は重要な要素です。人口減少や少子高齢化などの要因により、地域活動や体験活動などの生涯学習に関わる各種団体における構成員の固定化や高齢化が進み、担い手が不足しています。まちづくり・地域づくりの観点からも担い手確保は重要であるため、公民館や地域づくりにおける様々な団体等と協働していく必要があります。

#### ② 事業に対する認知度・関心が低い

各種の生涯学習事業に参加してくれる市民の固定化や、コロナ禍を経て、参加率が低下しています。特に現役世代（20代～50代）の参加率が低いため、現状の周知方法だけでなく、より多くの市民に伝わる情報発信の手段を検討し、生涯学習を推進していく必要があります。

### ハード面

#### ③ 施設の老朽化

市内の公民館や図書館、生涯学習センター、各種スポーツ施設などの生涯学習施設の老朽化が進んでおり、長寿命化を図るため計画的に修繕等を行う必要があります。糸魚川市公共施設等総合管理指針個別計画などの計画を指標に修繕等を行っていますが、緊急的なものも多く、適時の見直しが必要となっています。また、生涯学習拠点となる各施設の将来的な利活用について人口減少を見据えた目線を持ち、計画的に整備していく必要があります。

## 第6章 現状・課題に対する施策の方向性

本計画では今までの事業の評価を行い、成果を継承していくため現状と課題に対して以下のとおり方向性を定めます。

### ① 伝統文化や地域の担い手づくり

幅広い学習や外部への発信力を強化して認知度の向上を図るとともに、参加率を上げ、より多くの世代を巻き込み、地域や伝統文化の担い手づくりを目指します。

#### ②-1 事業の認知度・参加率の向上

社会教育やスポーツ振興など分野を問わず、主体的な参加を促すために外部への発信力を強化し、より多くの人へ情報発信を行い、参加率の向上を目指します。

#### ②-2 幅広い学習の提供

市民のニーズが多様化しているため、ニーズを的確に把握し、関係団体や企業などとの協働により魅力的な事業を実施することで、さまざまな学びの機会を創出するとともに、地域人材などの生涯学習に関わる人の活動を支援することで糸魚川の特徴に合わせた事業実施を目指します。

### ③ 計画的な生涯学習の拠点整備

市民が自発的に学習の場へと足を運びやすくなるよう居場所・生きがいつくりの拠点である生涯学習施設の計画的な整備を目指します。



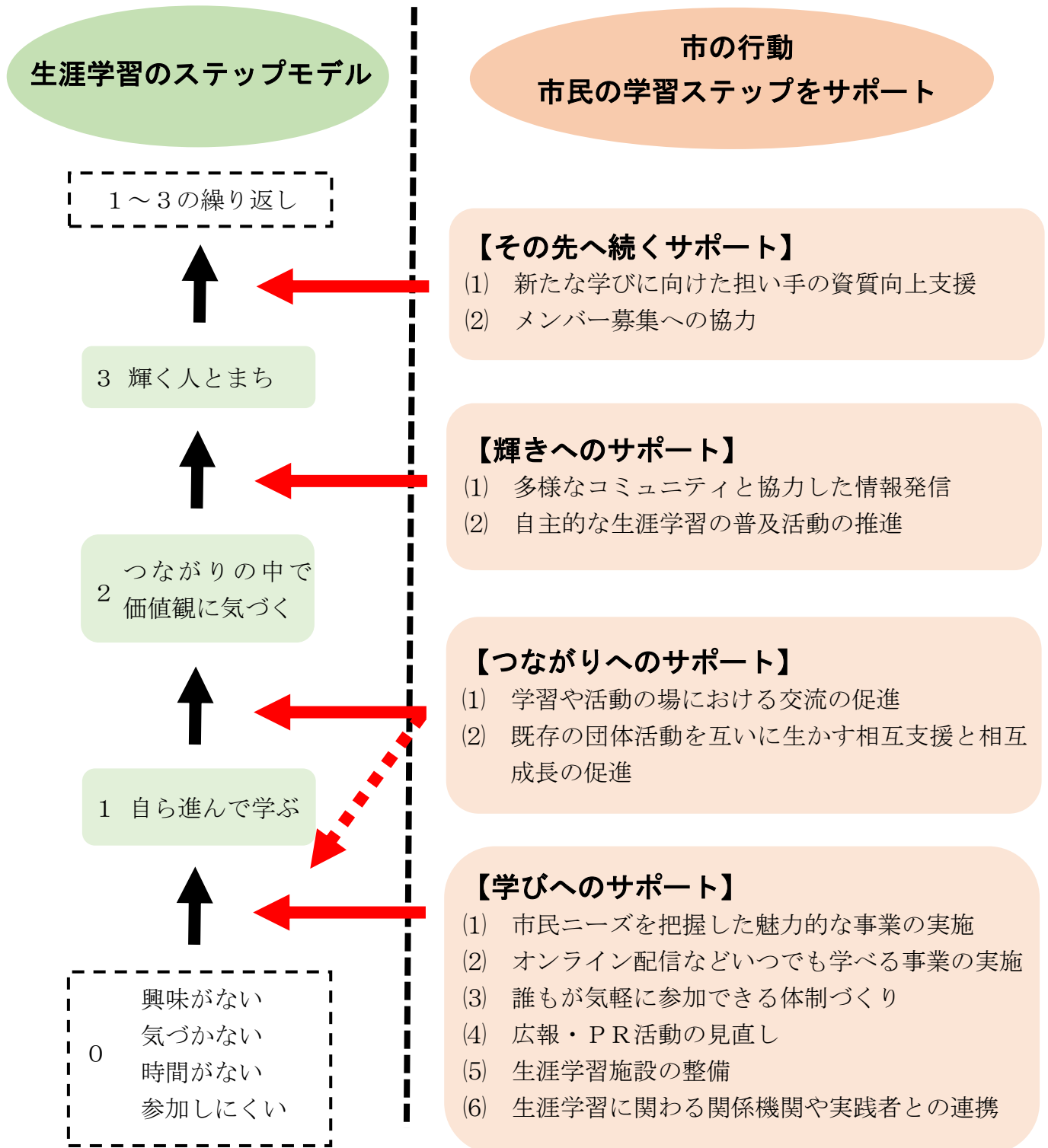
「お姉ちゃん達の演奏上手だね！」  
多くの世代に愛される施設を目指した  
高校生による図書館での演奏会



「みんなの隈取りがかっこいいね！」  
伝統文化（竹のからかい）を次の世代へ繋いでいく活動

## 第7章 市民の学習ステップに対する市のサポート

第5章の課題を踏まえ、当市では学びの3ステップに対して次のようなかたちで重点的な取組を行います。



「市民の学習ステップをサポートする市の行動」の説明は次のとおりです。

## 【学びへのサポート】

市民の自発的な学習を促すため、次のことに重点的に取り組みます。

### (1) 市民ニーズを把握した魅力的な事業の実施

各事業においてアンケート等を実施し、市民が今どんな学びを求めているか正確に把握していきます。既存の事業に対して参加意欲の少ない人が興味を持てるようさまざまな分野の開拓を進めます。また、ジオパーク学習など糸魚川だからこそ学ぶことができる特色のある事業を実施します。

### (2) オンライン配信などいつでも学べる事業の実施

20～50代の現役世代で生涯学習施設の講座に参加したいが、子育てや仕事で時間が取れないという人に対して、オンライン配信などの学びに参加しやすい形式の事業を行うことで、今まで生涯学習にふれることができなかった層を取り込めるような活動を行います。

### (3) 誰もが気軽に参加できる体制づくり

訪れたことがない生涯学習施設の利用や、イベントへの参加には抵抗感があるという意見があるため、誰もが利用でき、1人からでも安心して参加できるような生涯学習活動の広報や施設の雰囲気づくりを目指します。

### (4) 広報・PR活動の見直し

多様な情報が入手可能な時代である中で、特色ある糸魚川の学習の場が埋もれないようにSNSの活用や生涯学習施設を通じた広報を工夫して行い、正確な情報を市民に届けます。

### (5) 生涯学習施設の整備

生涯学習施設について、糸魚川市公共施設等総合管理指針に基づき、計画的な整備改修や効率的な管理を行います。既存施設、設備等の有効活用を行いながら、誰もが利用しやすい、気軽に足を運べる市民の学習の場となるよう機能の充実を図ります。また、地域ごとのスポーツ教室やコミュニティ活動等の拠点を整備することにより、市民が心身ともに健康でいるための居場所や生きがいを発見する機会を提供します。

## **(6) 生涯学習に関わる関係機関や実践者との連携**

生涯学習施設やその他の活動拠点となる場所において市民がより多くの学びに出会えるよう関係機関や実践者とお互いに助け合いながら学びの場を提供できるように連携を強化していきます。

### **【つながりへのサポート】**

他者とのつながりの中で自己の価値観の発見及び他者理解を促すため、次のことに重点的に取り組みます。

#### **(1) 学習や活動の場における交流の促進**

市の事業を通じた他者との関わりの中で、他世代や他地域の人の話や考え方を知り、他者や自己の価値観をより理解できるよう交流の機会を提供します。

#### **(2) 既存の団体活動を互いに生かす相互支援と相互成長の促進**

市内の様々な団体の活動をそれぞれの目的に応じてつなげ、互いの活動の良さや課題を共有し、より効果的に目的に近づく活動や規模を拡大した活動に導けるよう後押しします。

### **【輝きへのサポート】**

自己の経験を他者に還元することや、自身の興味に対して積極的に取り組むことができるよう後押しし、市民の自己実現を促すため、次のことに重点的に取り組みます。

#### **(1) 多様なコミュニティと協力した情報発信**

地域住民の交流と学習意欲が高まるよう、学習の成果を身近な場所で生かすことができる場を公民館等の生涯学習施設や文化関係・スポーツ関係の各種団体と協力して提供し、広く周知します。

#### **(2) 自主的な生涯学習の普及活動の推進**

生涯学習に関係する個人や団体の活動において自主的な活動をする場合に経済的・人的な問題により実施が困難な場合は、市が助成等を行い、自立や事業実施を支援していきます。

## 【その先へ続くサポート】

輝くためのステップを越えた人たちに対して、自立した活動を続けられるよう担い手の継続的な支援に取り組みます。

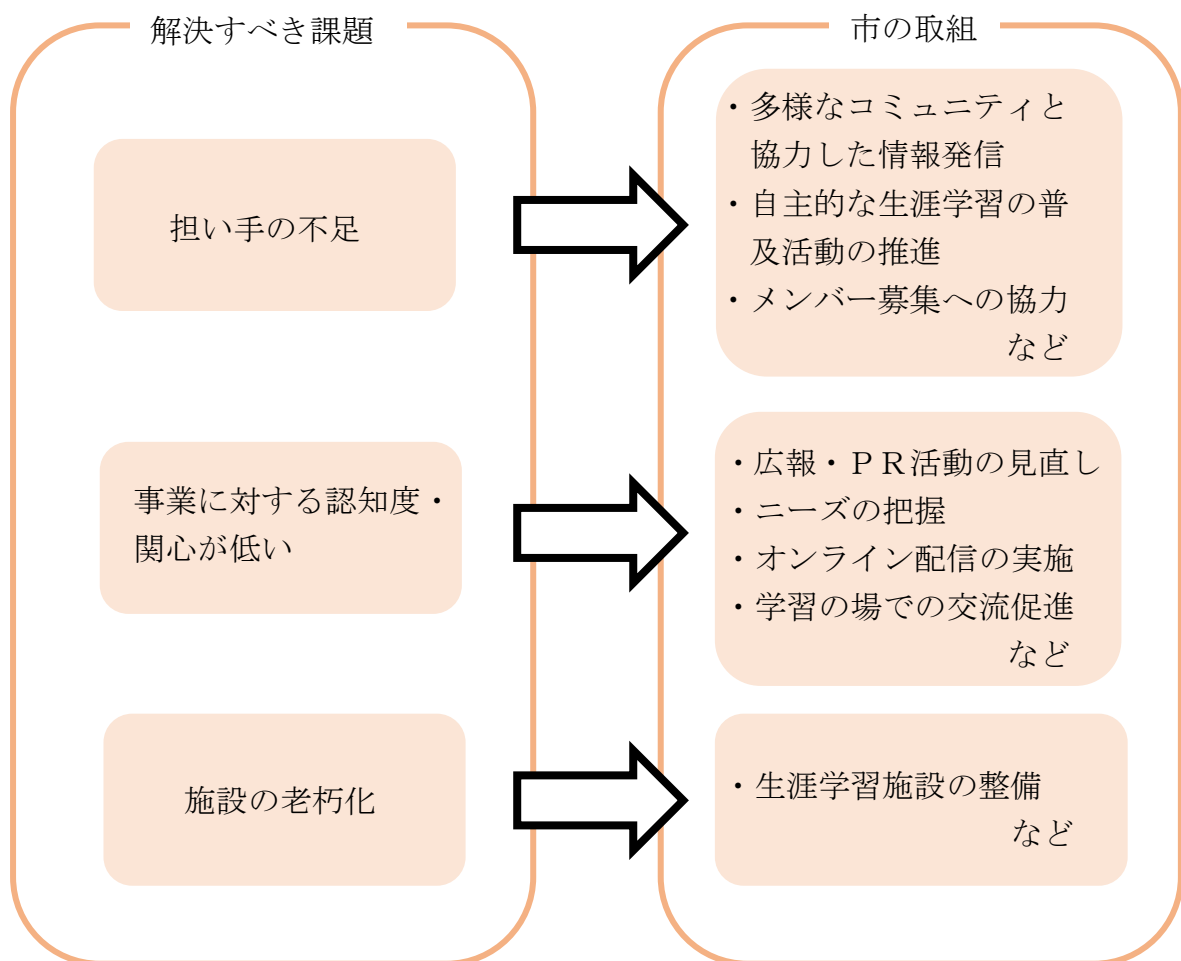
### (1) 新たな学びに向けた担い手の資質向上支援

自主的な活動ができるようになった個人や団体を学びの担い手として市の事業等で活用し、事業アンケートの結果による振り返りを共に行うことなどにより、資質向上の機会を提供します。

### (2) メンバー募集への協力

主体性を持った活動を継続的にやっている団体において、協力してもらうメンバーを募集したい場合は、市のホームページ等で広報を行い、担い手確保に協力します。

## 【イメージ図】

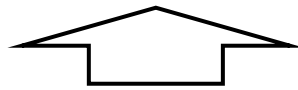


## 第8章 主要施策

前章で記載した重点的な取り組みの観点を基に、市民が学び、つながり、そして地域づくりや人づくりが活発な輝く人・まちを目指して、世代・領域などで分けた家庭教育、青少年活動、成人教育、スポーツ・健康分野の4つの分野を主要施策とし、生涯学習に関する活動拠点のなかで分野同士のつながりを意識しながら施策に取り組みます。

### 【基本理念】

『学び、つながり、そして輝く人とまち』



主要施策に取り組み、実現を目指す

### 活動拠点

生涯学習センター 公民館 図書館  
体育館 学校 園 キターレ 美山公園 など

#### 家庭教育支援

生活リズム向上  
親子読書活動  
PTA活動  
親子学習

#### 青少年活動

体験活動  
異世代交流  
地域愛育成  
キャリア教育

#### 成人教育

学び直し  
人材育成  
地域で子どもを育む  
地域づくり活動支援

#### スポーツ・健康

健康増進  
フレイル・介護予防  
スポーツ団体支援  
指導者育成



## (1) 家庭教育支援分野

### ◇目的

家庭における教育力向上を図るため、幼稚園、保育園、学校、地域など関係機関と連携して様々な学習機会を提供することで、子どもの成長の基礎となる愛着や基本的な生活習慣の形成をはじめ、親と子どもの自尊心を育むことや周りの人との関わりを通じた社会性の習得等の支援を目指します。

### ◇対象

子どもとその保護者

### ◇具体的なサポート(目標)

#### 【学 ぶ】

- ・子育て各期における学習会の開催や、生きる基礎力となる生活リズムの重要性を認識するための啓発事業、親子での体験講座を実施し、教育力や知識の向上を図ります。

#### 【つながる】

- ・学習会や体験活動を通じた親子がふれあう機会の提供や他の親子と関わる機会を作ることにより、地域と学校と家庭がつながり、お互いを知るきっかけを作ります。
- ・図書館などにおいて子どものための自習環境を提供し、安心してすごせる居場所を提供します。

#### 【輝 く】

- ・親子が事業や体験活動を通して学んだことを実践するため、地域や関係機関と連携し、必要な支援やサポート体制を充実させます。

関連する主な事業

具体的事業名	概 要	実施主体
家庭教育支援事業	自己肯定感や良好な対人関係を身につけられるよう、より良い親子関係づくりや幼児期からの体験活動、PTA活動を推進します。	生涯学習課
地域愛育成事業(地域学校協働活動)	学校・家庭・地域が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる環境の強化を図ります。	生涯学習課

具体的事業名	概要	実施主体
子育て支援センター運営事業	育児不安を解消するため子育て応援講座や育児相談を実施し、情報や交流の場としてげんき広場・あおぞら広場などを開設し、支援体制の充実を図ります。	こども課
親子の絆応援事業	愛着形成の大切さを学ぶため、すくすく赤ちゃん広場の開催やじゃれつき遊びを推進し、安定した育児ができるよう支援します。また、思春期に命の尊さを学ぶため未来のパパママ応援事業を開催します。	こども課
親子食育推進事業	ライフステージに合わせた「食育」を学ぶためマタニティスクール、離乳食講座、親子キッズ・キッチン、おいしい朝ごはん講座を開催し、子どもと保護者の健康づくりを図ります。	こども課
早寝早起きおいしい朝ごはん事業	生活リズムを改善し、心身の健康づくりを図ります。	こども課



「きのこって木から生えるんだよ！」  
親子でコミュニケーションをとりながらきのこの菌打ち体験



「消火器って思ったより重たいね！」「火を上手に消せるかな？」  
いざというときに備えて消火訓練などを体験する親子防災教室

## (2) 青少年活動分野

### ◇目的

異世代交流や自然体験学習、地域活動を通して、自ら考える力や自己肯定感の向上と郷土愛の醸成を図り、心身ともに健全な青少年の育成を目指します。

### ◇対象

小学生・中学生・高校生

### ◇具体的なサポート(目標)

#### 【学 ぶ】

- ・関係団体との連携や市民協働により魅力的な事業を実施します。
- ・糸魚川らしい地域資源を生かした様々な活動・体験学習などで自然や文化、伝統芸能等にふれ、地域を体感的に学ぶ機会を創出し、郷土愛を醸成します。

#### 【つながる】

- ・体験学習や地域活動を通して、子ども同士や地域住民等との交流を促します。
- ・学校教育と社会教育、生涯学習の連携を意識し、学校や関係機関と協働して事業を行うことで多様な交流を促します。
- ・一人ひとりが考える力を身につけられるように事業を実施するとともに社会性を身につけられるよう促します。
- ・子どもたちから地域と関わり続けてもらえるようコミュニティ・スクールや公民館活動などで地域の大人と関わる機会を作ります。

#### 【輝 く】

- ・青少年が自ら考え、自発的な活動を行うことができる場を設けます。

関連する主な事業

具体的事業名	概 要	実施主体
青少年活動事業	異世代交流や自然体験学習を通して、たくましく健全な青少年の育成と郷土愛の醸成を図ります。	生涯学習課
成人式事業	新成人を祝い、成人する際にためになる講話等を行います。	生涯学習課
アオハル 青春サポーター	高校生を対象に地域での交流を通して思考力の習得や自己肯定感の増幅を目指して市が実施する事業等に協力してもらいます。	生涯学習課

具体的事業名	概要	実施主体
コミュニティ・スクール	学校、保護者、地域が協働し、学校運営に意見を反映させる学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを進めます。	こども教育課
中学校情操教育推進事業	中学生の感性に働きかけることを目的とし、演劇や音楽などの舞台芸術の鑑賞機会を設けます。	こども教育課
ふるさと糸魚川学習支援事業	ジオサイトを巡り、学習内容の発表と交流の機会の企画・運営を行います。	こども教育課
中学生キャリア教育フェスティバル事業	市内の中学3年生が、自分らしい生き方を実現するため、「地域で生きる大人と対話する」、「自分の未来、地域の未来を考える」機会を創出します。	こども課
高校を核とした地域人材育成事業	0歳から18歳までの子ども一貫教育方針のもと、高校生世代が地域の人たちと関わり、地域への愛着や自己実現ができるように支援します。	こども課



「教えるのは緊張したけど楽しかった！」  
 高校生が地域の大人へアプリの使い方を  
 教える<sup>アオハル</sup>青春サポーターのスマホ教室



「冷たくてゴツゴツしてる！」「この石は何でこんな形なんだろう？」  
 野外で色々な自然を見て、ふれて、学ぶための  
 ワクワク探検隊

### (3) 成人教育分野

#### ◇目的

生涯学習を推進し、様々な学習活動を通じた交流の中でつながりが持てるよう支援します。そして、そのつながりを生かし、自らの人生や地域を豊かにするため、地域づくりを推進し、市民が自主的に活動することを目指します。

#### ◇対象

主に18歳以上

#### ◇具体的なサポート(目標)

##### 【学 ぶ】

- ・関係団体との連携や市民協働により糸魚川ならではの学習や生涯学習講座の実施、講座等のオンライン配信など、多様な学習内容や方法を提供します。
- ・学び直しなどの関心や興味に合わせた事業実施と各世代に合わせた情報を発信します。

##### 【つながる】

- ・同世代での交流を促すため、それぞれが得意なことや興味のあることに合わせた事業を実施します。
- ・学びの場や地域活動を通して、世代間交流や企業、地域、学校との連携による地域のつながりを作ります。
- ・各種団体が関連する他団体との協働を行えるよう情報収集や関係性の構築を支援します。

##### 【輝 く】

- ・これまでの取組を生かし、住民の主体的な学習活動や地域活動を促します。
- ・様々な団体と協働、連携を図り生涯学習活動を通して、心豊かな人生を送るための活動の場を提供します。
- ・主体的に生涯学習を推進してくれる個人や団体を学びの場で生かせるよう支援します。

#### 関連する主な事業

具体的事業名	概要	実施主体
成人教育事業	市民の学習ニーズや現代的な課題に対応するために事業を実施し、経験や知識を生かした活動を促進します。	生涯学習課
美術展覧会事業	優れた芸術文化にふれる機会として、美術展や作品展を開催します。	文化振興課

具体的事業名	概要	実施主体
鑑賞推進事業	音楽コンサートや演劇等、優れた芸術文化公演を行います。	市民会館 (文化振興課)
博物館活動推進事業	地域の貴重な自然資源を学ぶ機会を提供するため、フォッサマグナミュージアムにおいて教育活動等を推進します。	博物館 (文化振興課)
埋蔵文化財保存・活用事業	貴重な文化資源を学び、次世代へ伝えるよう埋蔵文化財を保存・公開します。	文化振興課
文化財保護事業	貴重な文化資源を次世代へ伝え、活用を図るよう文化財の保存・記録・公開を進め、あわせて講座、事業等を実施します。	文化振興課
芸術文化活動情報の提供	文化活動に関する情報を得られるよう市内で活動する文化活動サークル等の情報をホームページに掲載します。	文化振興課
人権啓発事業	様々な差別や偏見の解消に向け、人権教育の推進を図るため、人権啓発・講演会・研修会を開催します。	環境生活課
男女共同参画推進事業	男女がお互いの人権を尊重し、性別により不利益なく、個性や能力を発揮できるよう啓発活動、講座等を開催します。	環境生活課
消費生活相談事業	消費者が複雑化、悪質化する消費者トラブルに消費者自らが対応できるよう、必要な知識や最新情報の啓発を行うとともに、相談窓口の充実を図ります。	環境生活課
外国人生活支援事業	在住外国人が快適に暮らせるよう生活相談や通訳派遣を実施します。また、日本語教室の開催等により地域社会への参画を支援します。	環境生活課
出前講座	市民の要望に応じて市の施策や事業の取組を市職員が説明します。	総務課
まちづくりパワーアップ事業	市民等が取り組む地域づくり事業の立ち上げや、既に行われている地域づくり事業のレベルアップ等を支援します。	企画定住課
地域づくり活動支援事業	地域課題の解決に繋がる自主的・主体的な地域づくり活動を促進するため地域づくりプラン策定・実現を支援します。	企画定住課

## (4) スポーツ・健康分野

### ◇目的

生涯に渡る健康づくりやスポーツでの交流を通して、目標を共有し、より多様な仲間づくりを心掛け、健康で生き生きとした生涯を送ることを目指します。

### ◇対象

全世代

### ◇具体的なサポート(目標)

#### 【学 ぶ】

- ・各種事業の発展や総合型地域スポーツクラブの設立を進めることで、多くの市民が生涯にわたり、スポーツや健康づくりについて学ぶ機会を得られるようにします。
- ・地域活動や学校、スポーツ協会など、それぞれの目的に応じた活動を自ら選び、互いに効果的に連携・協力し合うスポーツ活動を推進します。

#### 【つながる】

- ・スポーツを通し、子どもから高齢者まで、世代を越えた交流を図り、多世代にわたる指導者の育成を図ります。
- ・健康教室やスポーツ教室等で共に活動する仲間同士の交流を促進します。
- ・健康づくりに対する意識を高めるため、スポーツ協会（競技団体）や福祉関係者等とのつながりを強化し、取組の輪を広げます。

#### 【輝 く】

- ・スポーツ大会やスポーツ教室を通して、自己の競技力の向上や仲間と共に目標に近づく満足感や充実感を得る機会を創出します。
- ・健康な体を目指し、その実現のための健康管理や継続的な運動習慣を身に付けられるよう支援します。

関連する主な事業

具体的事業名	概 要	実施主体
冬季スポーツ振興助成事業	雪国の特性を生かしたスポーツに親しむ機会を増やし、青少年の健全育成と冬季スポーツの振興を図ります。	生涯学習課
各種スポーツ大会	競技力向上や市民の健康増進と交流促進を図るため、市駅伝競走大会、市民スキー大会等を開催します。	生涯学習課

具体的事業名	概要	実施主体
スポーツ推進事業	市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりのため、各種スポーツ教室・大会の開催やスポーツ推進委員の活動・研修を実施します。	生涯学習課
体育団体等支援事業	スポーツ協会、各種競技団体及びジュニア育成団体との連携や情報共有により、活動や競技力の向上が図られるよう支援を行います。	生涯学習課
健康づくり推進事業	運動習慣の定着や生活習慣病予防を目的に、楽しみながら健康づくりを実践できるよう取組を進めます。	健康増進課
生活習慣病予防事業	健診結果からハイリスク者への保健指導・健康教育を行うとともに、広く生活習慣病予防のための普及啓発を行います。	健康増進課
一般介護予防事業	介護が必要となる状態を予防する事業で、市民の通いの場等へのリハビリ専門職の派遣や介護予防普及啓発事業として出前講座を行います。	福祉事務所
生活支援体制整備事業	高齢者が自ら健康を保持・増進し、社会参加や趣味・生きがいづくりに取り組むとともに学習と交流を支援します。	福祉事務所 地区公民館
保健福祉事業	糸魚川市独自に行う介護予防事業として、「転倒骨折予防教室・高齢者フレイル予防事業」等を行います。	福祉事務所



「みんなの想いをつないでゴールだ！」  
毎年白熱した戦いを見せる糸魚川市駅伝競走大会



## 第9章 計画の進捗管理

計画の推進にあたり、関連する事業について当市の行政各部局内で連携して進捗管理を行います。行政内での生涯学習についての必要性や重要性などについて共通理解を図りながら実施状況の適切な評価など効果的な進捗管理をして施策・事業の充実及び改善をしていきます。

### (1) 関連事業の進捗管理

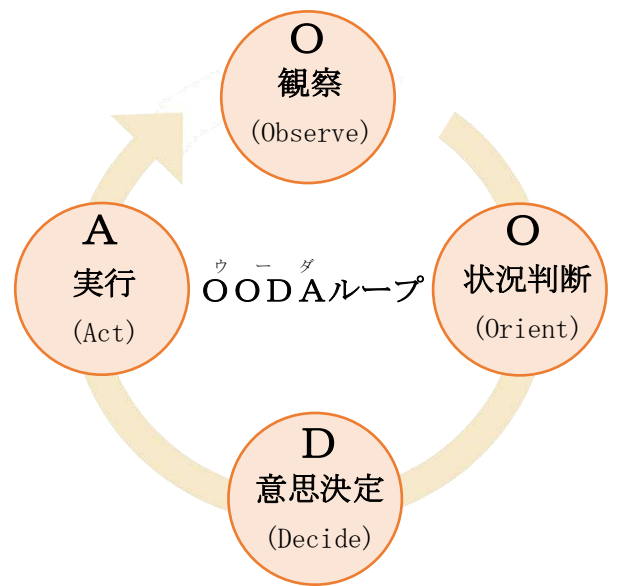
計画を効果的に推進するため、重点的に進める施策・事業については実施計画を策定し、OODA(ウーダ)ループによるマネジメントを行います。検証結果は各種団体や学識経験者等によって構成される糸魚川市社会教育委員、生涯学習推進委員等の会議で実施状況の報告等を行い、改善に努めます。

### (2) OODA(ウーダ)ループによる進捗管理

OODAループとは近年のような取り巻く環境が刻一刻と変化する状況の中で、成果を得るために使われるフレームワークで、観察(Observe)、状況判断(Orient)、意思決定(Decide)、実行(Act)の4ステップを繰り返す手法です。

OODAループは、「状況を見て柔軟に行動する」というもので、メリットとしては、変化の早い状況に対して柔軟かつ迅速に対応ができます。

そのため、PDCAサイクルを回す中で、柔軟な対応をするためにOODAループを取り入れ、進捗を管理していきます。



### (3) 計画の見直し

計画期間の途中においても社会状況の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

**《資料編》**  
**糸魚川市生涯学習推進委員会委員名簿**

助言者

氏名	区分	備考
辻村 貴洋	上越教育大学大学院 准教授	
関原 和人	上越教育事務所 社会教育課副参事	

糸魚川市生涯学習推進委員

氏名	区分	備考
清水 博	社会教育委員兼務（体育団体）	委員長
和泉 裕一	社会教育委員兼務（青少年育成関係団体）	副委員長
水澤 哲	社会教育委員兼務（小学校長代表）	
青山 範夫	社会教育委員兼務（中学校長代表）	
井崎 由紀子	社会教育委員兼務（社会教育関係団体）	
渡邊 闡壽	社会教育委員兼務（高齢者団体）	
村井 康	社会教育委員兼務（公民館連絡団体）	
渡邊 秀幸	社会教育委員兼務（公民館連絡団体）	
橋立 茂樹	社会教育委員兼務（青少年育成関係団体）	
長 砂 男	社会教育委員兼務（家庭教育活動団体）	
田邊 和子	社会教育委員兼務（文化団体）	
松本 香織	社会教育委員兼務（家庭教育活動団体）	
澤口 裕宇子	社会教育委員兼務（保育支援者）	
矢島 好美	社会教育委員兼務（地域づくり活動実践者）	
渡邊 文恵	社会教育委員兼務（土曜自習室支援員）	
西澤 隆	生涯学習推進委員（読み聞かせボランティア）	
園田 和子	公募委員	

## 補足資料

本ページに記載されているものは計画策定にあたり、参考にした資料及び内容に関する説明が記載されているウェブページ等です。該当資料は令和6年3月時点のものであり、今後掲載先が変更になる場合もありますので、ご了承ください。

### ウェルビーイング

出典：厚生労働省「人口減少・社会構造の変化の中で、ウェル・ビーイングの向上と生産性向上の好循環、多様な活躍に向けて」



### コミュニティ・スクール

出典：文部科学省「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」



### 地域学校協働活動

出典：文部科学省（学校と地域でつくる学びの未来）「地域学校協働活動」



### 総合型地域スポーツクラブ

出典：文部科学省「総合型地域スポーツクラブ：スポーツ庁」



### OODAループ

出典：厚生労働省「生産性&効率アップ必勝マニュアル～マネジメント手法～PDCAサイクルとOODAループ」



### 生涯学習に関する世論調査

出典：内閣府「生涯学習に関する世論調査」



### 糸魚川市の公共施設の個別計画

出典：糸魚川市「糸魚川市公共施設等総合管理指針個別計画」



